



神田和泉屋学園だより

明けましておめでとうございませう

今年もよろしくお願ひ申し上げます



今年は何の年

神田和泉屋は創業70年、神田和泉屋学園も開講20年を迎えます。創業は昭和11年の夏でした。かつての小川町周辺はとても繁華な場所だったそう、靖国通りの小川町交差点近くはエノケンが「俺」は村中で一番、「と歌った「モボ（モダンボーイ）モガ（モダンガール）」が闊歩した通りで、ロシア革命で逃れてきた白系ロシア人の女性などが働いたカフェも建ち並び、今も地下鉄出口B5のところには「天下堂」ビルなどと名残を残しています。ちよつと両国寄りの須田町には日露戦争の英雄「廣瀬中佐」の銅像、今

の交通博物館のあたりです。ここが東京一の繁華街で博物館のあるところは中央線のターミナル駅万世橋駅。多くの人出で賑わった場所の名残で今も「藪そば」鶏料理の「牡丹」おしるこの「竹村」あんこう鍋の「伊勢源」などが残っています。神保町の方に行けば、今は「種のタキイ」もちよつと昔は「神田日活」という映画館、このあたりは「新天地」と呼ばれた繁華街で「毎晩殺人事件があつたよ」などと年寄りが言うちよつと危険な繁華街。靖国通りの「美津濃スポーツ」の裏には「五十稻荷神社」が今もあります。かつては5の日と10の日には縁日が立ち、つま先立たなければ歩けなかつたほどの賑わい、今では想像

も付かない神田の変わりようです。

校長の親父がこの地を選んで開業した理由は繁華街であつたからでした。子煩悩な親でしたが、商売熱心で商売上手でした。終戦後は神田の酒屋で2番目に早くトラツクを買い、銀座や日本橋に飲食店の顧客をたくさんもっていました。こんな生い立ちをもつ神田和泉屋ですが、校長が跡を継ぐと決まったときから飲食店顧客を整理したりして、商売下手な息子でもなんとかなる？ ようにと考えてくれました。また私たちの結婚と同時に隠居。好きなようにやれ、ということでしたが、責任も当然自分もち。幸いにも当時からいつの時代にも誰かがそばにいてくれていて良い刺激と忠告、援助をとおかげで、今日の神

田和泉屋があります。そして気づけば70年。ありがたいことです。

稲荷神社と云えば昨年6月から校長が地元小川町の守り神「幸徳稲荷神社」の代表役員を勤めることになりました。

古い記録が引き継いだ書類の中にありました。「商売が繁盛したから三百円」「妻が死亡したので二百円」などという寄付の記録がたくさんありました。その寄付記録も親父の時代くらいで途絶えています。それが、それでも親父の時代に神社修復の寄付集めをして鳥居などを直した記録がありました。「おかげさまで」という気持ちを忘れずに神に対して「お願い」ではなく「お礼」の気持ちをもち続ける「日本人が日本人らしく」生きていた時代です。先日、テレビに東京農大の人氣教授が

出て「日本人はここ数十年の間に5倍も肉を食べるようになった。海藻や根菜、魚を食べることが少なくなりました。しかしこれらの食品は日本人にとって必要な」。またある友人は「同じ東洋人も中国人や韓国人は肉食人種。日本人は肉食人種なんですよ。強いて言えばタイ人が同じ肉食人種。肉を食べ続けると自己主張が強くなり優しさが失われて行く傾向があります」と。

牛井の騒ぎに象徴されるように「肉なしに生きられない今の日本人」。神社への「感謝の念の減少」も「民族の酒日本酒の衰退」も根はこんな深いところにあるのかも知れません。

余談ながら「幸徳稲荷神社」の長年の懸案だった修復工事は地域の了解を得て、昨年未着工、年の変わり目の節分会に完成の予定です。



修学旅行

アル中アル高在校生とアル大学13期14期の酒蔵見学未参加者対象
 1月21日(土)22日(日)に行います。
 現地集合、現地解散。
 訪問先は大原の「木戸泉」さんと御宿の「岩の井」さんです。
 JRの時刻表が大幅に変更されています。参加申込者には地図と一番無駄のない?列車時刻案内が同封されています。

新年会

家政科新年会
 家政科だけが1月に授業がないために毎年開催されています。1月14日(土)午後5時

赤坂 中華「新悦園」申し込み込まれた方には地図が同封されています。



自画自賛

新酒(生酒)購入
 申込は3月号でのご案内となります。

前年度のお酒は一升瓶で50本程度が蔵にあるだけとなっていきます。購入ご希望の方は神田和泉屋へ電話でお申込みください。1月13日切。

自画自賛精米

先月12月4日、岩瀬酒造さんで自画自賛の米の精米が行われました。まずは蔵内見学。もうすでに酒母が4本立ち、もろ



みも2本が仕込まれていました。興味を引いたのは山廃酒母の亜硝酸反応検査。



見学後、敷地内の精米所へ移動。あいにくと雨がぼつぼつ。70%精米に必要な時



間は約10時間ということ約1時間で仕事も強くなったので、藤井「にバスをお願いして移動。夏の町「御宿」は静かなもので宿でも手の込んだ料理となりました。蔵元さんから「自画自賛」の貯蔵中に出たオリをいただいて料理と共に、、、



神田和泉屋の予定
 1月 印休業
 印早仕舞い

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	5	6	は午後6時閉店	

5日 営業開始
 10日 アル中募集開始
 アル大学1組
 アル中学1組
 アル中学2組
 家政科新年会
 アル高校1組
 アル高校2組
 アル大学2組
 在校生修学旅行
 ぶどう酒の会
 アル高校3組



SINCE 1936

101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8

休業日 上段カレンダーに記載

営業時間 月曜～金曜 am10:00～pm7:00

土曜 pm01:00～pm6:00

Tel 03-3294-0201 Fax 03-3294-0227

HomePage <http://www.kanda-izumiya.com> E-mail shop@kanda-izumiya.com

1988年8月 第1号創刊



2004年10月現在名に改称

2006年01月 第210号